

※今月のみ受注の書目です。

# ジョーン・ロビンソンとケインズ

## 最強の女性経済学者はいかにして生まれたか

(2022年8月中旬刊行予定)

ナヒド・アスランベイグイ (モンマース大学教授)、ガイ・オークス (モンマース大学教授) [著] / 安達貴教 (京都大学経営管理大学院准教授) [訳]

A5 判上製 / 416 頁 税込予価 5,940 円 ISBN978-4-7664-2840-7 C3033

### 👉 ココに注目!

- 20世紀最大の女性経済学者であるジョーン・ロビンソン。
- 彼女がいかにしてケインズ・サークルのトップに登りつめたか。その秘密が初めて明らかになった!

20世紀を代表する女性経済学者、ジョーン・ロビンソンは、男性社会であるケンブリッジ大学の知識人のなかで、いかにして自らの地位を確立し、研究成果を認められたのか。ケインズ・サークル内の人間関係を、膨大な書簡から詳細に描き出す。

ロビンソンの経済学、ケインズ『一般理論』の形成を知る上で重要な一冊。

**対象** ケインズ、イギリス経済学に関心のある人 / 学者や知識人の伝記に関心のある人

**類書** 根井雅弘『定本 現代イギリス経済学の群像』(白水社)

### 営業部からのおすすめポイント

女性初のノーベル経済学賞候補ともいわれたロビンソン。いまでも主流派の経済学に対抗する学派にとっては教祖的存在です。その彼女が男性優位の学界のなかでどのようにのし上がっていったかが赤裸々に明かされます。ケインズ、イギリス経済学に関心のある研究者および一般読者へのご案内をぜひご検討ください。

(福本)

👉 主要目次、注文書は裏面に掲載! ぜひご確認ください!

# 【主要目次】

## 序 男性経済学者たちが織りなす人間模様に浮かび上がる女性経済学者

### 第1章 理論家らしからぬキャリア

1938年2月、ケンブリッジにおける出来事／成功を収める：ケンブリッジの経済学者になるための方法（1900～30年頃）／男だけの世界／「分析的経済学者」：職業的アイデンティティの形成（1930～31年）／ジョン・モーリスからジョン・ロビンソンへ／『不完全競争の経済学』の源泉：オースティンによる回想／オースティンによる回想：ロビンソンによる回想／『不完全競争の経済学』の源泉：書簡学的解釈／学界でのキャリア形成の戦略

### 補説 ロビンソンとカーン

友情とキャリア形成／距離を近づける二人／いつ帰国するの？／過ぎていくだけの時間、1933-1937年／精神疲労で倒れる／説明と再確認／アレクサンダーの死

### 第2章 『不完全競争の経済学』の誕生

マーシャル共同体／弟子のエートス／内在的批判の過激化：1920年代における批判的方法の決定因／対話としての研究／カーンとの対話／ピグーとの対話／アメリカでのカーンとロビンソン／文明の前線地／シカゴ的傲慢：シュルツとヴァイナーの問題／ハーヴァード／遠方からのキャリア支援

1930～33年のケンブリッジにおける業績主張：ケンブリッジのエートス

ロビンソンとカーン：優先権に関する同意

ロビンソンとショーヴ：業績についての自己主張のやり合い

追記－カーンとショーヴ：業績を巡る言い争いを未然に防ぐ

ロビンソン時代について補足：その家事マネジメント術と金銭状況について

### 第3章 ケインジアンになる

パトロンのいない被保護者／ハイエクとの論争／トランピントン・ストリート学派の教義／党派主義者／マクミラン・レビュー／接近を模索する／ピグーの『失業の理論』への匿名書評／貨幣理論を学習する／学内政治／『一般理論』の草稿を読む／革命的布教者／『一般理論』を宣伝する：『雇用理論論集』／子どものおとぎ話：『雇用理論入門』／講義リストについての論争／あっけのない結末：大学講師職／「ジョン・ロビンソンとは何者でしょうか？」歴史叙述の二つの方法／戦略的な賢さ／効果的な印象付けのために／戦略としての従順さ



ご注文は FAX で！ 03 - 3451 - 3124



番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		ナヒド・アスランベイグイ、ガイ・オークス 著／安達貴教 訳 <b>ジョン・ロビンソンとケインズ</b> 一最強の女性経済学者はいかにして生まれたか ISBN978-4-7664-2840-7 C3033	5,940 円	★★★

★1つで「500部」を表します